

研究発表もうしこみフォーム

氏名：山口 周子

氏名のローマ字表記：Yamaguchi Nariko

所属：大阪大学（非常勤講師）

専門分野：説話文学

発表のタイトル：

*Эрдэнийн сан субашид*に見られる仏教説話 –第 93 偈と空を飛ぶ亀の物語–

発表要旨（600 字～800 字程度）：

*Эрдэнийн сан субашид*（以下『ソバシッド』とする）は、チベット仏教サキャ派の高僧サキャ・パンディタ（Sa skya Paṇḍita: 1182-1251）が著した格言集 *Sa skya legs bshad* のモンゴル語訳である。

『ソバシッド』には、「Sonom gar-a 版」と「Dambaijamsan 版」、「Blo bzang tshul khirms 版」の 3 つのバージョンが確認されている。これらのうち、Blo bzang tshul khirms 版には、チベット語原本に一致しない点が散見される。本発表では、その例として第 93 偈を取り上げ、関連説話に着目し、チベット語原本との差異が生じた原因について考察を示す。

第 93 偈は、「人に頼る人」を「愚者」として説く内容である。チベット語原本では、この「愚者の喩え」として「カラス (bya rog) に運んでもらった亀が地面に落ちた話」を述べる。一方、Blo bzang tshul khirms 版『ソバシッド』でも類似する話を喩えとしてあげるが、亀を運んだのはカラスではなく、「2 羽の雁 (хоёр галуу) 」とする。さらに、本テキストに付随する注釈書 *Чинтаманын түрхүүр* では、第 93 偈の喩え話の由来として、次のような説話が語られる。

「干魃の為に干上がった湖に、2 羽の雁と 1 匹の亀がいた。雁たちは、他の水場に移ることにしたが、その時、亀は自分も連れて行ってくれるように頼む。雁たちは承知し、一本の棒の真ん中を亀に咥えさせ、『決して口をきかないように』と注意を与えると、それぞれが両端を咥え、空に飛び上がった。空を飛び、一件の家の上に差し掛かると、その子供が彼らの姿を見つけ、面白がって囃し立てた。亀は囃し立てられたことに腹を立て、子供達に向かって怒鳴りつけたので、口が棒から離れ、亀は地面に落ちて死んでしまった。」

この説話は、仏教説話群として広く知られる「ジャータカ（釈迦の前世譚）」の 1 つで、パーリ語仏典や、チベット仏教の『説一切有部律』の中にも見られる。モンゴル仏教文献という点より、Blo bzang tshul khirms 版のこの記述は、『説一切有部律』に基づく可能性が考えられる。

(761 文字)